

教員の受賞・研究成果

本学Webサイトに掲載された記事を中心に紹介します。<2022年11月～2023年6月>
教員の身分は、記事掲載時の情報です。

経済学部教授 佐々木創

国連環境計画 (UNEP) 等主催のサイド・イベントにおいて 招聘され、AIを利用した世界の廃プラ政策動向について報告

経済学部教授佐々木創が16th Asia Pacific Roundtable on Sustainable Consumption and Productionという国際会議の中で、国連環境計画(UNEP)とアジア工科大学(AIT)が主催したサイド・イベント“Plastic-Free Rivers for Resilient Riverine Communities”に招聘され講演しました。

プラスチック汚染と海洋ごみ問題は地球規模の新たな課題です。いま世界130カ国以上で、使い捨てプラスチックの使用規制やプラスチックのリサイクルへの対策が検討、実施されています。現在、経済学部教授の佐々木は人工知能(AI)を活用することで、廃プラ政策動向を常時モニタリングし、データベース化し、将来的に政策評価を行い効果的な削減政策を導出する研究を実施中です。

商学部教授 山口朋泰

日経・経済図書文化賞など各賞を受賞

商学部教授山口朋泰の著書『日本企業の利益マネジメントー実体的裁量行動の実証分析』(中央経済社)が、「第65回日経・経済図書文化賞」、「日本会計研究学会第81回太田・黒澤賞」、「日本管理会計学会2022年度文献賞」を受賞しました。

文学部教授 大田美和

マンチェスターの詩のコンペティションで2位受賞

文学部英語文学文化専攻教授大田美和の英詩“A Gatekeeper”が英国マンチェスターの毎月の詩のコンペティションRead Manchester’s Poetry Placeで2位を受賞しました。

このコンペティションは、あらゆる年齢やマインドの人たちに応募資格があり、クリエイティブ・ライティングをコミュニティに再導入することを通して、書くというスキルによってわれわれが何を創り出すことができるのかを発見するというコンセプトの下に、毎月異なるテーマの詩を募集しています。5月のテーマは、メンタルヘルスへの気づきでした。

このコンペティションを運営しているRead Manchesterは、マンチェスター市議会と協力して地域住民の読書活動を啓発推進しているチャリティ団体です。

文学部教授 宮間純一

「国葬儀」で新語・流行語大賞を受賞

文学部日本史学専攻教授宮間純一が「国葬儀」で新語・流行語大賞を受賞しました。

新語・流行語大賞は、1年の間に発生した様々な《ことば》の中で、軽妙に世相を衝いた表現とニュアンスをもって、広く大衆の目、口、耳をにぎわせた新語・流行語を選び、そのことばの発生に深くかかわった人物、団体を顕彰するものです。宮間は明治維新史・日本近代史・アーカイブス学が専門で、公葬を研究テーマの一つとしており、『国葬の成立ー明治国家と「功臣の死」ー』(勉誠出版、2015年)などの著作があります。

2022年12月1日に開催された表彰式では「国葬の成り立ちや果たした役割を正面から取り上げ、国葬の問題点を明らかにした」などとして新語・流行語大賞に選ばれました。



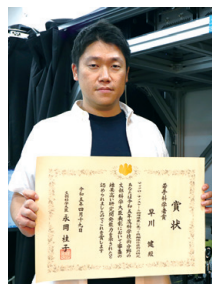
理工学部准教授 早川健

令和5年度科学技術分野の文部科学大臣表彰で 若手科学者賞を受賞

理工学部精密機械工学科准教授早川健が、マイクロ/ナノスケール物理現象に基づく微細操作技術の研究について業績が認められ、「若手科学者賞」101名の1人として授賞しました。この賞は、科学技術に関する研究開発、理解増進等において顕著な成果を収めた者に文部科学大臣が授与するもので、「科学技術賞(開発部門、研究部門、科学技術振興部門、技術部門、理解増進部門)」「若手科学者賞」「創意工夫功労者賞」「研究支援賞」が設けられています。

受賞名称：令和5年度科学技術分野の文部科学大臣表彰「若手科学者賞」

受賞日：2023年4月7日



科学技術分野の
文部科学大臣表彰メダル

理工学部助教 小島朋久

日本材料学会 衝撃部門賞奨励賞を受賞

理工学部精密機械工学科助教小島朋久が日本材料学会衝撃部門賞奨励賞を受賞しました。この賞は近年、衝撃工学分野の研究を始め、一連の研究・技術において将来性に富む業績をあげた個人に授与されるものです。

受賞日：2023年3月16日

研究開発機構 機構教授 秋山哲男

国土交通省令和4年度(第64回)交通文化賞を受賞

研究開発機構機構教授秋山哲男(「超高齢社会のインフラプロジェクト(ユニット責任者：理工学部 教授 谷下雅義)」)が国土交通省「令和4年度(第64回)交通文化賞」を受賞しました。本賞は、公的活動、学術研究、芸術活動、国際的活動等を通じて、我が国交通文化の向上に著しく貢献した者に授与されるもので、秋山機構教授は、高齢者や障害者のモビリティとバリアフリーに関し有識者の立場から政策立案の中心的役割を担うなど交通分野におけるバリアフリー化の推進に寄与したとして、1月1日付で国土交通大臣より表彰されました。

研究開発機構 機構助教 大場章弘

国際賞 Education 2.0-Outstanding Leadership Award を受賞

研究開発機構機構助教大場章弘がUAEのドバイで2022年12月17日に開催された授賞式において、国際賞Education 2.0-Outstanding Leadership Awardを受賞しました。同賞は、環境、貧困、健康、人権、平和、ジェンダーなどのグローバルな課題に関する教育産業や学術研究、社会活動を含む広範な教育活動で卓越したリーダーシップを発揮して社会に貢献する個人・団体・企業へ贈られる国際賞です。特に、大場機構助教がモンゴルや中国内モンゴル自治区において気候変動に伴う異常気象や砂漠化によって家畜被害等の農牧業への甚大な被害に苦しむ遊牧民や農家が適応できる仕組みを現地コミュニティや研究機関、政府機関とデマンド・ドリブンアプローチで協働して構築し、遊牧民や農家が異常気象や砂漠化への適応行動を実現した成果やキャパシティビルディングを含む研究活動が高く評価されました。